

平成27年度実施施策に係る政策評価書

別紙2

(環境省27-14)

施策名	目標4-1 国内及び国際的な循環型社会の構築					
施策の概要	循環型社会形成推進基本計画等を着実に実行して国内における循環型社会の構築を図るとともに、3Rイニシアティブに基づいて国際的な循環型社会構築を図る。					
達成すべき目標	循環型社会形成推進基本計画に基づき定められた、資源生産性の向上、循環利用率の向上、廃棄物最終処分量の削減等の目標を達成するとともに、3Rイニシアティブに基づき国際的に3Rを推進することにより、循環型社会の形成を目指す。					
施策の予算額・執行額等	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況(百万円)	当初予算(a)	888	891	737	652
		補正予算(b)	-	-	-	-
		繰越し等(c)	-	-	(※記入は任意)	-
		合計(a+b+c)	888	891	(※記入は任意)	-
執行額(百万円)	749	779	(※記入は任意)	-		
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	インフラ輸出戦略(平成26年度改訂版)(平成26年6月3日) 第2章4.(4) 2ポツ目 p24 第3章 1 国別取組 7ポツ目 p30 第3章 4 大洋州 現在の取組状況 1ポツ目 p34					

測定指標	資源生産性(GDP÷天然資源投入量)(万円/トン)	基準値	実績値					目標値	達成
		12年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	32年度	
		25	38	39	38	38	調査中	46	△
	年度ごとの目標値	/	-	-	-	42	-	/	
測定指標	循環利用率(循環利用量÷総物質投入量)(%)	基準	施策の進捗状況(実績)					目標	達成
		12年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	32年度	
		10	15	15	15	16	調査中	17	○
		年度ごとの目標	/	-	-	-	14~15	-	/
測定指標	廃棄物最終処分量(百万トン)	基準	施策の進捗状況(実績)					目標	達成
		12年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	32年度	
		56	19	17	18	16	調査中	17	○
		年度ごとの目標	/	-	-	-	23	-	/

評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) 目標達成 (判断根拠) 資源生産性については、平成21年度以降横ばい傾向にあり、目標未達となっている。一方、循環利用率及び廃棄物最終処分量は目標値を超過達成している。(なお、25年度の目標値は第二次循環型社会形成推進基本計画時点の数値。)
	施策の分析	測定指標の中で、目標値を達成していない資源生産性は、GDPを我が国に投入される天然資源等投入量で割った値であり、その改善のためには、GDPの増大、又は天然資源等投入量の削減を図る必要がある。平成21年度以降、GDPはほぼ横ばいである一方で、建設需要の増大や、燃料用石炭の消費量の増大等により、天然資源等投入量が増大しており、数値が横ばい又は悪化している。このように、資源生産性は、経済・社会動向によって大きく左右されるため、その数値の評価が難しいところであるが、今後、外的要因を可能な限り排除したり、又は、補助的な指標を用いることで、適正な評価・分析を行っていく。
	次期目標等への反映の方向性	【施策・測定指標】第三次循環型社会形成推進基本計画(平成25年5月閣議決定)中の指標の妥当性及び指標と実際の取組の関連性については毎年度中央環境審議会循環型社会部会等において検討を行っている。今後も引き続き同計画の指標・目標の妥当性及びその進捗状況についての評価点検を行いながら、同計画の取組の着実な進展を図る。その際、UNEP国際資源パネル等において議論されている物質フロー指標の質の向上、国際的な比較に向けたデータ整備の取組等の国際的な議論を踏まえつつ、当該指標の妥当性等についても検討していく。また、循環再生資源の価格低下によるリサイクル事業者の事業環境の悪化や、循環再生資源の海外流出などを踏まえ、回収・リサイクルの効率化や越境移動等の適正化などの施策を検討していく。

学識経験を有する者の知見の活用	<ul style="list-style-type: none"> 第三次循環型社会形成推進基本計画中の指標の改善状況について検討するWGを設置し、指標・目標の達成状況とその要因分析を行った。 基本計画に記載された施策(2R(リデュース(廃棄物等の発生抑制)及びリユース(再使用))に係る施策、地域循環圏に係る施策等)についても、取組を進展させるための方策等について検討会を設置し、専門家の知見を伺った。 上記の取組を含めた循環型社会形成施策全体について、中央環境審議会循環型社会部会において有識者の審議を踏まえて点検・評価報告書を作成した。
-----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	第三次循環型社会形成推進基本計画の進捗状況の第2回点検結果について(平成28年3月中央環境審議会)
---------------------------	---------------------------------------------------

担当部局名	大臣官房廃棄物・ リサイクル対策部 企画課循環型社会 推進室	作成責任者名 (※記入は任意)	循環型社会 推進室長	政策評価実施時期	平成28年8月
-------	-----------------------------------------	--------------------	---------------	----------	---------